

茨城県立中央看護大学校 助産学科

助産学概論

助産分野の研究



2026.7.7

茨城キリスト教大学 渋谷えみ

1. 研究とは



- 1) 「興味・関心」の対象となる事象をもとに、より一般的な結論を導く過程である。
- 2) 色々な角度から調べ、その結果から、皆が納得できる答えを得ることができる。
- 3) 異なる事象間の共通性を明らかにする過程である。
- 4) まだわかっていないことをわかっていることに変えるために、誰もが納得できる筋道を通り、必要な手続きを踏みながら行う知的な作業である。

2. 助産師/看護師は、なぜ研究をするのか？

経験や直感で看護を行うのではなく



効果的なケアなどは臨床現場でこれまでに行われてきた看護研究の成果

<EBN(evidence-based nursing)>に裏打ちされながら発展してきた。臨床看護研究はよりよいケアのためにある。

看護研究 ~~=~~ 業務改善

⇒ その行為が患者の為であるなら = 看護研究

3. 研究テーマの見つけ方

- ◆ 研究の関心 (topics)
- ◆ 研究問題 (Research Problem)
- ◆ 研究疑問・明らかにしたいこと (Research Question)

- ・産後ケア
- ・メンタルヘルス
- ・死産・流産のグリーフケア
(子ども家庭庁重点領域)
- ・プレコンセプションケア (重点政策)
*政策動向と臨床課題が反映された領域研究

リサーチクエスチョン
(明らかにしたいこと)



倫理的に 研究テーマ
大丈夫な研究か？

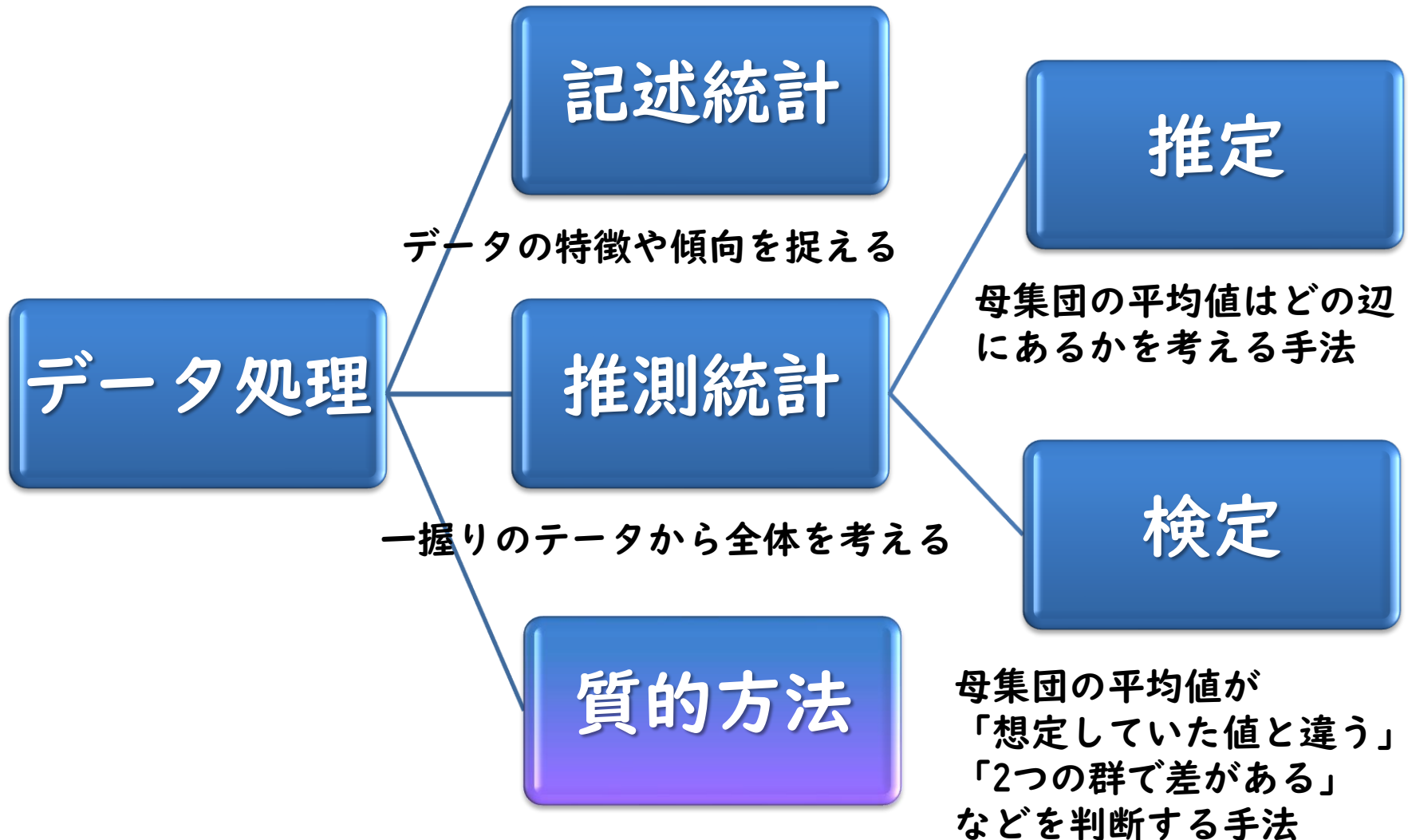
4. 研究の種類

事例研究	特定の事例、特殊な事例を取り上げて分析する。
量的研究	質問紙で調べ、統計的手法で分析。
質的研究	面接、観察の実態から臨床の現場で起こっている様々な現象を明らかにする。
文献研究	自分のテーマがすでにどの程度研究されているのか、明らかにされていない部分は何かを探る。

リサーチクエスチョンが決まれば自ずと研究方法が決まる！

人を対象とする場合が殆どであるため
倫理的配慮が必須

データを処理する方法



量的研究の基礎知識 (I)

項目	測定値	測定値	測定尺度
人間 	男性 1 女性 2 内科 1 外科 2	名義尺度 区別にのみ意味のあるもの	質的変数
成績	優 3 普通 2 悪い 1	順序尺度 順番にのみ意味のあるもの	
気温	20.0℃	間隔尺度 数値間の距離はどこまでも同等であるが、原点は任意に定められる	量的変数
身長 血圧 	165cm	比（率）尺度 普通の数字として計算が可能なもの 絶対0点をもつ	

尺度が決めれば統計的分析方法が決まる

量的研究の基礎知識 (2) 検定対応表

	名義尺度	順序尺度	比率尺度
1標本	2項目検定法	コルモゴロフ・スミルノフの1標本検定法 1標本連検定法	Z検定 1標本t検定
独立2標本	フィッシャーの直接確率検定 2標本 χ^2 検定	マン・ホイットニーのU検定 (ウィルコクソンの順位和検定) 2標本中央値検定 コルモゴロフ・スミルノフの2標本検定 2標本連検定 モーゼの検定	対応のないt検定
対応2標本	マクネマー検定	ウィルコクソンの符号順位和検定 符号検定	対応のあるt検定
独立多標本	多標本 χ^2 検定	クラスカル・ワリスの検定 多標本中央値検定	1元配置分散分析 2水準の比較諸法
対応多標本	コクランのQ検定	フリードマンの検定	繰り返しのない 2元分散分析法

量的研究の基礎知識 (3)

因果関係を調べる時

ある要因によってもう一方の要因の結果に
差が出るかどうか

独立 (説明) 変数 = 原因
従属 (目的) 変数 = 結果

◆摂取カロリーをとる人ほど、血清コレステロール値が高い？

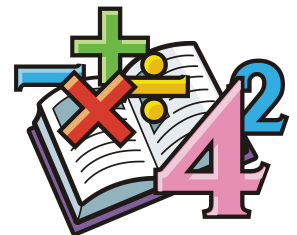
独立変数・・・摂取カロリー

従属変数・・・血清コレステロール値

◆牛乳を飲む小学生ほど、背が伸びる？

独立変数・・・牛乳の摂取量

従属変数・・・背の伸び率



5. 看護研究における倫理的配慮

- ・ 臨床現場における医療倫理と研究倫理（学術研究）は異なる
- ・ 研究倫理は自然に身につくものではなく、意識的な学びが必要
- ・ 研究における倫理的配慮とは対象者の不利益の排除
＊人を対象とする研究はどれだけ倫理的配慮をしても、どのような研究方法であっても“対象者に何らかの不利益（負担）を与えているという意識”を持つこと

- ・ インタビュー時に辛い感情を思い起こす可能性があること
- ・ データ収集時に少なからず身体的負担（侵襲）を伴う可能性があること
- ・ アンケートであっても対象者から回答に要す時間を頂いていること

あなただったらどうしますか？

1. あなたの集めたデータは仮説とは違っていました。ただし、仮説を支持するデータの中には含まれています。
都合の良いデータのみを集めて結果を示しても良いですか？
2. グラフや図を作成する際に、あなたが集めたデータを切り貼りしたほうが見やすくかつ綺麗になります。
切り貼りをしても良いですか？
3. あなたの考えていることと同様のことが書かれている論文が見つかりました。必要な個所を**コピペ**してもよいですか？



研究を行う上で拠り所となる研究倫理

- ◇ 疫学研究に関する倫理指針（文部科学省、厚生労働省）
- ◇ 臨床研究に関する倫理指針（厚生労働省）



研究が多様化し、度重なる研究不正の不適性事案が発生したため



研究活動における不正行為への対応に関するガイドライン

（厚生労働省 平成27年1月16日 平成29年2月23日改正）

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000152685.pdf>

（2026.4.8 閲覧）

現在は以下の倫理指針が、研究倫理の拠り所として活用されている



人を対象とする医学系研究に関する倫理指針

（文部科学省、厚生労働省、経済通産省 平成3年3月23日 平成5年3月27日一部改正）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000909926.pdf> （2026.4.8閲覧）

科学の健全な発展のために ～誠実な科学者の心得～

（2015年2月 日本学術振興会）

<https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf>

（2026.4.8）

研究同意（インフォームドコンセント）を
得るには何を説明すればよいのか？



インフォームドコンセント

1) 研究協力を依頼する理由（対象として選定する理由）

研究協力を依頼された相手が“なぜ、多くの人々の中から自分が選ばれたのか”が納得できるように説明する。

2) 研究目的、方法（回答に要す時間や場所）、期待される成果、研究協力に伴い生じる利益と不利益・負担（リスク）

回答することで辛い感情や不快感を誘発することもある ⇒ その場合の対処方法

*カウンセリング、医師との連携など

*相談窓口の提示 ex) 術研究センター、学園監査室、学園顧問弁護士の連絡先

3) 個人情報の取り扱い方、データの管理、プライバシーの保護、研究資金、結果発表方法

4) 研究同意、撤回は自由意思によるものであり、同意しない場合も不利益はないこと。

途中辞退も可能

インフォームドアセント

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に明記)



*インフォームドアセントは親の責任の範囲にいる子どもがども対象

***インフォームドアセントとは、子ども* (7～14歳, 米国小児学会, 1995) の疾患とその治療法について、保護者に対して説明し同意を得るだけでなく、子ども自身にも説明して了解を得ること。**

*子どもの定義は一般的に、**16歳以上の未成年者は本人からの同意が必要。但し、7歳以上は同意は可能とみなす。**

<小児を対象とした研究>

「子どもを対象とする看護研究に関する倫理指針」

日本小児看護学会 (2015.9)

https://jschn.or.jp/files/201510_child_kenkyu_rinri.pdf (2026.4.8閲覧)

研究の依頼書・同意書に含む内容

1. 研究の目的・意義
2. 研究方法・期間
3. 研究への参加・協力の自由意思
4. 研究への参加・協力の拒否権
 - ・ 参加に同意しない場合であっても不利益は受けないこと
 - ・ 研究の参加に同意した場合であっても、いつでも取りやめることができること
 - ・ 研究の参加を取りやめることによって不利益を受けないこと
5. プライバシーの保護
6. 個人情報の保護の方法
 - ・ 研究の結果が公表される場合であっても、対象者の秘密は保全されること
7. 介入研究・評価研究の場合には、具体的な介入方法の記述
8. データ収集方法（協力依頼内容、所要時間）
9. 研究に参加・協力することにより期待される利益（研究対象者や社会に対して）
10. 研究に参加・協力することにより起こりうる危険並びに不快な状態とそれが生じた場合の対処方法
11. 研究中・終了後の対応
12. 研究結果の公表方法
13. 同意書へのサインが不可能あるいは困難な場合には、その理由と代諾者等の選定方針
14. 研究を行う看護者および研究責任者の氏名、所属、職名、連絡先、連絡方法
15. 日付および研究対象者の署名欄



※同意書は同じものを2通作成し、研究対象者と研究を行う看護者の双方が保管できるようにする。

研究のプロセスと研究の構成要素

研究論文

1	文献レビュー【文献クリティック】
2	関心領域・テーマの絞り込み
3	リサーチクエスチョンの設定 【研究目的】
4	データの収集方法・データの分析方法 【研究方法】
5	結果の提示
6	分析結果の解釈
7	研究の問題点や限界
8	成果の活用に関する提言

緒言

プレテスト

結果

考察

研究計画書

参考文献



- 坂下玲子他：看護研究 医学書院 2018
- 宮坂道夫他：看護倫理 医学書院 2018
- 日比野正巳編：研究のすすめ方 阪急コミュニケーションズ
- 古橋洋子：看護研究ビギナーズNOTE 学研 2011
- 桂敏樹編：かんたん看護研究 南江堂 2012
- 早川和生：看護研究の進め方論文の書き方 医学書院2012
- 秋ゆたか：サクサク看護研究 中山書店 2011
- 黒田裕子：看護研究step by step 学研 2006
- 操華子、松本直子：臨床看護研究の道しるべ 日本看護協会 2006
- 土屋雅子：看護・医療系研究のための
アンケート・面接調査ガイド 診断と治療社 2010
- 萱間真美：質的研究のピットフォール 医学書院 2013
- 川島みどり：いきいき実践たのしく看護研究 看護の科学社 2012
- 中畠洋；初学者のための質的研究26の教え 医学書院 2015
- 舟島なをみ；研究指導方法論 医学書院 2015
- 田久浩志；私だってできる看護研究 医学書院 2015
- 前田樹海；はじめての看護研究 ナツメ社 2015